

## 2010 台湾事件簿

日時	事件
02/19	米オバマ大統領がダライ・ラマ氏と会見したことに対し、中国が抗議
02/19	日本政府は新防衛計画大綱の策定に着手、将来の北朝鮮や中国の脅威に備えるもの。
02/20	蕭萬長副総統は、ECFA 案についてすでに国会の監視を受けており、国民投票を実施する必要なしとの考えを表明。
02/21	国民党は、第6回・国共経済貿易文化フォーラムを今年も中国で開催することを決定。
02/22	周錫偉・台北県長が新北市市長選に出馬しないことを表明。
02/23	国家安全会議の蘇起・秘書長が辞任、胡為真氏が就任。
02/24	馬英九総統は、ハイチ地震の援助に関する具体案を提出。 新任の江啓臣・新聞局長が就任。
02/25	呉敦義・行政院長が H1N1 疫病センターの解散に同意。
02/25	財政部は、大規模な国有地を優先的に活用していく方針を決定。
02/26	經濟部が立法院の国民党団に対し、新版産業革新条例案を提出。
02/27	立法委員補欠選挙で、民進党が花蓮縣を除いた桃園県、新竹県、嘉義県で3議席を獲得。
02/28	馬英九総統が、228 事件は台湾地方自治の歴史上、民主化のターニングポイントになったと表明。
03/01	台湾県市議長、副議長選挙。 米ジェイムズ・スタインバーグ・国務副長官が中国および日本を歴訪。

03/02	<p>呉敦義・行政院長が、地価高騰地域の国有地払い下げを当面停止することを要求。</p> <p>考試院が「公務員成績考慮法」の修正案を公布。成績「丙」が3度累積すると、免職もしくは自主退職。</p>
03/03	<p>蘇貞昌氏が台北市長選への出馬を表明。</p> <p>中国全国政協会議が開幕。</p>
03/04	<p>高雄の甲仙で震度 6.4 の地震が発生。経済損失は約 11 億元。</p>
03/05	<p>中国全人大が開幕。</p> <p>新台湾国策シンクタンクのオープニングパーティを開催。</p>
03/06	<p>中国の陳徳銘・商務部長は、中国の輸出は 2、3 年以内に 2008 年の金融危機前の水準に戻るとの認識を表明。</p>
03/07	<p>行政院は婦女節（女性デー）を前に「産休」取得を奨励。</p> <p>中国の楊潔篪・外交部長は、日中は東シナ海の油田問題について、対話によって解決するべきと強調。</p>
03/08	<p>楊志良・衛生署長が辞意を表明するものの、16 日に慰留を受けて留任。</p>
03/09	<p>江丙坤氏が、6 月には ECFA を締結したいとの期待を表明。</p>
03/10	<p>中国が北朝鮮・羅津港の 10 年租借権を更新、日韓など隣国の懸念に。</p>
03/11	<p>米國務省は 2009 年度の人権報告を発表。中国の人権状況は悪化していると指摘。</p> <p>王清峰・法務部長は死刑廃止を提案したことで批判を浴び、辞職。</p>
03/12	<p>中国工程院院士・王夢恕氏が 5 月に台湾と中国の海底トンネル建設について討論することを示唆。</p>
03/13	<p>蔡英文氏は、8 月に民進党の全国代表大会で「10 年政綱」を採択すると表明。</p> <p>中国商務部の姜増偉・副部長は、「ECFA」を結ぶには今が最適な時期と表明。</p>
03/14	<p>温家宝は、ECFA は台湾の利益にかなうと発言。</p>
03/15	<p>馬英九総統は、死刑の存廃問題とすでに判決が確定した死刑囚の刑執行時期については分けて処理するべきとの考えを表明。</p>

03/16	呉敦義・行政院長は2つの前提（国家安全の保護、適切な優先順位）の下でなら、兩岸における軍事相互信頼メカニズムを構築するとは可能との見方を表明。
03/21-03/26	米オバマ大統領がグアム、オーストラリア、インドネシアを歴訪。
03/21-03/27	馬英九総統は、「友好訪問」として南太平洋の国交を有する6カ国を歴訪。
03/24-03/30	江丙坤氏が中国湖南、安徽、江西を訪問。大陸委員会の高長・副主任委員が随行。
03月下旬	王富卿・副会長率いる海峽兩岸関係協会一行が訪台。
04月	中国上海市、湖北省、陝西省、広西自治区の省市首長が経済貿易団体を引率して訪台、商談。
04/06	韓正・上海市長が訪台し「都市フォーラム」に出席。 米財務長官がインドを訪問、「米印経済および金融パートナー関係メカニズム」がスタート。
04/12-04/13	日本の鳩山由紀夫首相が「核サミット」出席のため訪米。
04/15	米財務省が中国を「為替操作国」か否かを決定。
04/19	中国湖北省委員会の羅清泉・書記が訪台。
04/20	上海世界万博の試験営業を開始。

発行所：新台湾国策シンクタンク

編集長：羅致政

副編集長：李明峻

編集担当：巫宜娟、陳宗巖

連絡先：

住所：台北市中正区衡陽路 51 号 3 楼

電話：+886-2-23131456

FAX：+886-2-23131599

Email: [info@braintrust.tw](mailto:info@braintrust.tw)